

先へ進め

高橋 真紀

建築（住宅の設計監理）・O設計事務所

私は大学院生の頃、芦川研究室に所属していた。芦川先生の継続研究が海外広場調査や国内のパブリックスペースだったこともあり、国内外を問わず、休みになると旅に出るのが常であった。さて、私が参加した1998年の海外広場調査はチェコ・ドイツ・フランス。今資料を見返すと、一日で3都市～6都市移動するなかなかハードな調査旅行（27日間）であった。もちろん、宿泊する宿は決まっていない。とにかく、1都市でも先へ進み、1広場でも多く調査するのである。そんな旅にもかかわらず、私は体力がなかった。もう少し詳しく言うと、車に酔いやすい。ついでに道にも迷う。ドイツのドレスデンでダウンし（私は10分だと思っているが、実際は30分ぐらいダウンしていたらしい）、同じくドイツのリュベックで迷子になり・・・と中々の困ったちゃんぶりであった。修士論文をドイツマルクト広場でまとめ、造景という町作り系雑誌への掲載をお手伝いし、多少なりとも恩返しをしてから卒業できたことに、ホットしている。

さて、無事大学院卒業後は設計事務所に勤め、主に新築戸建住宅に携わっている。小さな失敗を繰り返しながら、今ではスタディー模型作り、基本設計、実施設計だけでなく、役所との交渉、構造設計とのやりとり、確認申請、見積調整、現場監理、竣工検査、アフターケアまで一通り担当できるまで成長した（と思う）。時に落ち込みながらもここまで続けてこられたのは、やはり芦川研究室の「先へ進め！」精神が根付いていたからに違いない。気が付けば31歳。そろそろ修行期間は終わりにし、次にどの道に進むか、久しぶりに旅に出て考えたいと思う今日この頃である。

（1999年度生活科学研究専攻修士課程修了）

